

“輝け！ひぐみっ子” だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～

☎861-5531

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

「こだわりを捨てる」×「対話」=成長



校長 丹羽正昇

【対話するひぐみっ子】

11月は、横浜市においては読書活動推進月間です。このことは、学校だよりを通じ、ここ数年お伝えしています。今年も読書活動推進月間にちなみ、本の問題を一つ。

私が、このところ何度も読み返している本に「子どもたちに民主主義を教えよう」があります。これは、横浜創英中学・高等学校長の工藤勇一さん（前 千代田区立麹町中学校長と御紹介するほうが、馴染みがあるかもしれませんがね。）と、哲学者・教育学者である熊本大学の苦野一徳さんとの対談をまとめた本です。対談形式なので、たとえ難しい内容であっても平易な言葉で話されており、どんどん読み進めることができ、すいすい頭に入ってきます。はじめは、タイトルにある「教えよう」という言葉に、上から目線じゃないのかと少しばかりのひっかかりを覚えていましたが、読み進めていくとその言葉を使った意味が明らかになっていき、最後には納得している自分がいました。私がこの本の前で立ち止まったのは、本の帯（近頃かかっている本が少なくなりました!）に「多数決の問題点、わかりますか」とあったのがきっかけです。多数決とは民主主義の根本を成す概念であり、方法だと思っていた私にとって、その言葉は、微かに流れた電気ショックのように、体の一部に弱い痺れを与えました。

ここで本の内容を詳しく記す余裕はありませんが、代わりにそこに登場する二つの言葉をお示しします。一つは「学校は『対話』で変わる」。もう一つは「こだわりを捨てる」です。「対話」の大切さは、本校の職員の間や子どもがデザインする学びの中で、ずいぶん意識されるようになり、「対話」を大切にしたい学びづくりにおいて、学校外からも大きな評価をいただくまでになっています。もう一つの「こだわりを捨てる」については、難しいと感じる場面が多々出くわします。そう感じる際のいちばんの要因が、大人の存在であることに愕然とするのですが、救いはそんな時に見せるひぐみっ子（特に6年生や5年生のような高学年の子どもたち）の柔軟さです。大人が大切にしてきた既存の概念や考え方を捨て、未来社会を生きるひぐみっ子にとって何が本当に大切なのかを真剣に話し、次に踏み切ろうとしたとき、いちばんの理解者が常にひぐみっ子であることの幸せは、学校職員だからこそ味わえる醍醐味の一つなのかもしれません。

本にある工藤先生の「こだわりを捨てて、自己修正をしていくことが、人としての成長だと思う」という言葉。自分たちの経験や体験を後生大事にしすぎることなく、常に変化していく世の中に希望を見出し、子どもの可能性を信じ抜くことの大切さを表しているように思います。そして同時に、大人の私たちも、いつでもいつまでも成長できるのだと励まされている。そんな気がしました。

※参考:「子どもたちに民主主義を教えよう」(工藤勇一、苦野一徳 あさま社 2022)

居場所

職員室業務アシスタント 山際 峻

職員室

私が子どもだった頃の記憶を辿ると、職員室という場所は厳かで子ども心ながらも少し背筋を伸ばさなきゃと思う雰囲気でした。そのためあまり職員室に近づくことがなく、私のコンプレックスである猫背を矯正する絶好の機会を失ったまま学生時代の終わりを迎えました。そうして年月は経ち、私の追憶に学校という社会が登場することが少なくなってきた頃に、職員室業務アシスタントという仕事に出会いました。職員室業務アシスタントというのは、今読んでもらっているこの学校だよりなどお手紙の印刷や、調理員さんが作った温かい給食を、給食前にエレベーターで各階に上げてそれぞれ担任の先生に渡すなどの作業を日々しています。主に職員室に居る時間がほとんどの中で、元気なひぐみっ子の声を毎日聞きながら仕事をしていると、かつてのイメージとは随分と違う職員室の雰囲気を感じます。厳かに感じ自ら遠ざけていた職員室には、毎日ひぐみっ子が委員会の仕事や職員への用事などで訪ねてきます。ひぐみっ子が何かに困り職員室を訪ねてきたら、それぞれ集中して作業をしていた職員も子どもたちの目線に合わせて相談に乗る姿がここにはあります。東汲沢小学校の職員室は、けして近寄りやすい場所ではなく、開かれた空間なのかな。なんて着任して感じたものです。この雰囲気は私たち職員である大人だけが作るものではなく、訪ねてくる子どもたちがいるから、受け入れる場所が出来ているのだろうと学ばせてもらいました。近寄りやすい場所や人は、自分の心の中で作り出していたんだなと今では思えます。